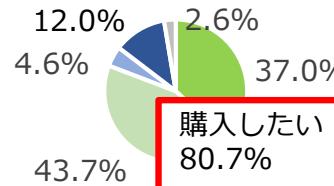


環境に配慮した農業に取り組んでみませんか！

令和7年10月

- 近年、世界的にSDGsが浸透する中で、食の分野でも環境に配慮した食品を購入する消費活動の変化が見られます（右グラフ）。
- 生産現場では、温暖化の影響などにより、全国各地で記録的な豪雨等による大規模災害が頻発しています。
- 地域によっては、病害虫の薬剤抵抗性の発達や、気象変動等による病害虫発生パターンの変化に対応できていない問題が生じています。



問 環境に配慮した生産手法によって生産された農作物を実際に購入したことがありますか。

- 購入したことがあります、今後も購入したい
- 購入したことはないが、今後は購入したい

【食料・農業・農村の役割に関する世論調査】
(内閣府、令和5年9月14日～10月22日実施、有効回収数2,875人)

環境に配慮した農産物に対する消費者の意識は高まっている

「環境負荷低減」の取組み例

1. 土づくりと化学肥料・化学農薬の使用低減

【土づくり】

- ・堆肥等の有機質資材の施用
- ・緑肥作物（レンゲ、ソルゴー）の利用



緑肥作物（ソルゴー）による土づくり

【化学肥料の低減】

- ・有機質肥料の施用
- ・局所施肥（側条施肥など）
- ・肥効調節型肥料の施用
- ・土壤診断に基づく施肥



局所施肥による化学肥料の低減

【化学農薬の低減】

- ・機械除草
- ・天敵・微生物農薬の使用
- ・抵抗性品種・台木の利用
- ・土壤還元消毒
- ・フェロモン剤の利用



一時的な湛水処理による土壤還元消毒

2. 温室効果ガスの排出量の削減

・稲わら、麦わらの圃場へのすき込み

+水田での中干し期間の延長

・ヒートポンプや木質バイオマスボイラーの導入

・保温資材等の利用

（内張りカーテン、断熱資材、循環扇の設置）

・家畜排せつ物の堆肥化技術の向上

・さぬきファーマーズステーションの導入・活用

・農業機械、機器等の省エネルギー化・電動化



ヒートポンプの導入



循環扇の設置

3. プラスチックの排出量抑制

・土壤への炭素の貯留に資する土壤改良資材（バイオ炭）の施用

・生分解性マルチフィルムや中長期耐久性フィルムの使用

・家畜への環境負荷低減型飼料の給与



バイオ炭の施用

「みどり認定」を受けましょう！

○「みどり認定」とは

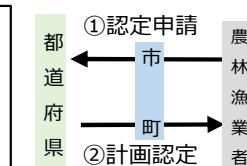
- ・環境に配慮した農業に取り組む農業者の実施計画を県が認定する制度です。

○「みどり認定」を受けるメリット

- ・設備投資の際の税制優遇が受けられます。
- ・さまざまな国庫補助金の採択で優遇されます。
- ・日本政策金融公庫の無利子融資等が活用できます。

○今後のメリット

- ・環境保全型農業直接支払交付金等は、令和9年度を目標に「みどり認定」を受けた農業者による先進的な営農活動を支援する仕組みに移行することが検討されています。



グループ申請も可能です！



←「みどりの食料システム法」について

お問い合わせ・相談は、西讃農業改良普及センターまで